

印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

操作のしくみと表示の見方

⑥ボタンを押すごとに以下の順でモードが切り替わります。
(押すごとに操作確認音が鳴ります)
※詳しくは各機能の項目をご覧ください。

時刻・カレンダーモード

(曜日の見方)

日
月
火
水
木
金
土

★⑥ボタンを押している間、ライトが点灯します。
★12/24時間制表示切り替え
⑥ボタンを押すごとに12時間制表示(午前“A”/午後“P”)と24時間制表示が切り替わります。
★グラフ表示は時刻・カレンダーモードでは秒に連動し、ストップウォッチモードでは1/10秒または秒に連動して、時間の経過を示します。

⑥

ストップウォッチモード

⑥

リコールモード

⑥

アラームモード

秒の合わせ方...30秒以内の遅れ進みの修正

月に一度くらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時計はいつも正確です。

(1)時刻表示のときに、①ボタンを押すと「秒」が点滅します。



(2)時刻に合わせて、⑥ボタンを押すと「秒」が00秒からスタートします。



秒が00~29秒のときは切り捨てられ、30~59秒のときは1分くり上り、00秒からスタートします。

※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。

(3)秒合わせが終わりましたら、①ボタンを押すと時刻表示に戻ります。



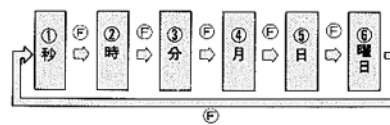
時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻・カレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

(1)時刻表示のときに①ボタンを押すと「秒」が点滅します。



(2)⑥ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。点滅箇所がセット可能ですので、セットしたい箇所を点滅させます。



(3)点滅箇所が秒以外のときは、⑥ボタンを押すごとに1つずつ進み、①ボタンを押すごとに1つずつ戻りますので、セットしたい数字を表示させます。
※それぞれ押し続けると早送りができます。



⑥ボタンでセットしたい箇所を選び、①・⑥ボタンで表示をセットする操作をくりかえし行ない、時刻・カレンダーを合わせてください。
注)「時」のセットのとき午前(A)/午後(P)、24時間制にご注意ください。

(4)セットが終わりましたら、①ボタンを押して点滅を止めます。
※時刻セットのときに表示を点滅させたままにしておくと、2~3分後自動的に点滅が止まります。
※カレンダーは大の月、小の月を自動判別するオートカレンダーですので、うるう年の2月29日以外は修正不要です。

印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

ストップウォッチの使い方…操作のしくみにしたがって⑥ボタンを押して、ストップウォッチモードにします。

ストップウォッチは1/1000秒単位で、最大9時間59分59秒999(10時間計)までのラップタイムを計測し、以後自動的に0に戻って計測を続けます。

さらに、9本のラップタイムとスプリットタイム、ベストラップ*1とベストラップ時の時速をメモリーできる機能があります。

また、区間コース距離**や目標ラップタイムをセットしておけば時速や目標ラップタイムとの差を自動的に計算することもできます。

*1 ベストラップは計測されたラップタイムのうち最も速い記録です。

*2 区間コース距離は、周回競技では1周分の距離です。

＜計測範囲＞
ラップタイム：0時間00分00秒000～9時間59分59秒999

ラップ数：0～99

ラップ差：-59分59秒999～±00分00秒000～+59分59秒999

目標とのラップ差：-59分59秒999～±00分00秒000～+59分59秒999

ラップ時速：000.000～999.999km/h

目標ラップ時速：000.000～999.999km/h

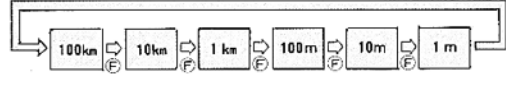
※ラップタイム、ラップ数は、以後、自動的に0に戻り、くりかえし計測を続けます。



＜区間コース距離のセット＞

※区間コース距離のみをセットする場合は、ストップウォッチモードで④ボタンを2回押すと、直接区間コース距離のセットになります。

(5)区間コース距離セット中に⑥ボタンを押すと点滅箇所が以下の順で移動します。点滅箇所がセット可能ですので、セットしたい箇所を点滅させます。



(6)点滅箇所が⑥ボタンを押すごとに1つずつ進み、⑧ボタンを押すごとに1つずつ戻りますので、セットしたい数字を表示させます。

※⑧・⑥ボタンは押し続けると早送りができます。

※区間コース距離は999.999kmまでセットできます。

★表示が点滅しているときに⑥ボタンと⑧ボタンを同時に押すと、区間コース距離をクリア(000.000に戻す)することができます。



⑥ボタンでセットしたい箇所を選び、⑧・⑥ボタンで表示をセットする操作をくりかえし行ない、区間コース距離をセットします。

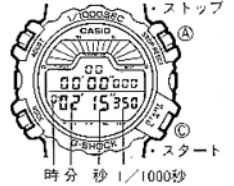
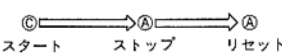
(7)区間コース距離のセットが終わりましたら、④ボタンを押すと点滅が止まり、ストップウォッチモードの表示に戻ります。

※目標ラップタイムまたは区間コース距離セットのときに表示を点滅させたままにしておくと、2～3分後自動的に点滅が止まります。

■計測の仕方

※計測中、1/1000秒表示は高速動作のため“B”で停止しているように見ることがありますが、内部では正確に1/1000秒で計測を行なっています。

●通常の計測

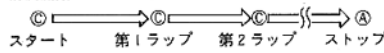


●ラップ計測

ラップ計測はストップウォッチモードで④ボタンを押すとストップウォッチがスタートし、以後、③ボタンを押すごとに各周回のラップタイムが計測できます。また、自動的に9本のラップタイムとスプリットタイム、ストップタイム、ベストラップ*とときの時速をメモリーしますので、リコールモードで呼び出して見ることができます。

※ラップタイムのメモリーは9本までで、それ以上計測した場合は、自動的に古いデータを消去し、新しいデータを9本(最後の9ラップ分)メモリーします。

＜計測開始＞



※計測終了後、新たな計測をするときは、④ボタンを押してリセットします。

ラップタイム計測中および計測後、④ボタンを押している間表示ラップタイム(例では第4ラップタイム)と前回ラップタイムとの差とラップ時速を表示し、⑧ボタンを押している間目標ラップタイムとの差と目標時速を表示します。



※1時間を越えるラップの計測を行なった場合は、表示窓上段では分以下のみ表示しますが、ラップ差や時速の計算等は時分を含むデータで計算しています。

※ラップ差表示は前回または目標よりも遅いときは“+”マークが、早いときは“-”マークが、同じときは“±”マークが点灯します。

※時速は計算後、四捨五入で求めています。

★ベストラップ通知機能

計測したラップタイムがベストラップのときは、約3秒間の電子ブザーによる報音と“BEST”マークの点滅でベストラップであることを知らせ、メモリーします。

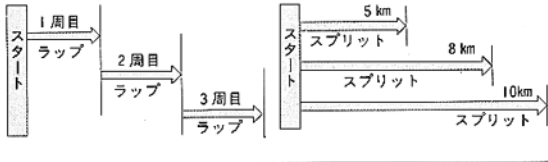
なお、ベストラップ通知機能は、ラップタイムが1時間未満のときのみ行ないます。

※計測停止時(ストップタイム)にベストラップを計測しても、④ボタンによる計測停止ではベストラップとして扱いません。



ラップタイムとスプリットタイム

- ラップタイムは計測中の任意の区間(周回競技では1周分)の所要時間。例：陸上の周回レース
- スプリットタイムはスタート地点から任意の地点までの経過時間。例：マラソンでの10kmまでのタイム



■計測前の準備

計測前に区間コース距離や目標ラップタイム(周回競技では1周分のタイム)をセットしておけば、計測したラップタイムから自動的に時速や目標ラップタイムとの差が計算できます。

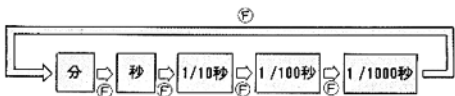
※時速や目標ラップタイムとの差が必要でないときは、セットしなくてもかまいません。

＜目標ラップタイムのセット＞

(1)ストップウォッチモードで⑥ボタンを押すと表示窓上段の目標ラップタイムが点滅します。



(2)目標ラップタイムセット中に⑥ボタンを押すと点滅箇所が以下の順で移動します。点滅箇所がセット可能ですので、セットしたい箇所を点滅させます。



(3)点滅箇所が⑥ボタンを押すごとに1つずつ進み、⑧ボタンを押すごとに1つずつ戻りますので、セットしたい数字を表示させます。



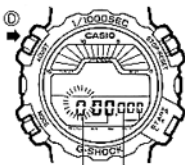
※⑧・⑥ボタンは押し続けると早送りができます。

※目標ラップタイムは59分59秒999までセットできます。

★表示が点滅しているときに、⑥ボタンと⑧ボタンを同時に押すと、目標ラップタイムをクリア(00'00" 000に戻す)することができます。

⑥ボタンでセットしたい箇所を選び、⑧・⑥ボタンで表示をセットする操作をくりかえし行ない、目標ラップタイムをセットします。

(4)目標ラップタイムのセットが終わりましたら、④ボタンを1回押すと表示窓下段の区間コース距離が点滅し、区間コース距離のセットとなります。



※区間コース距離をセットしない場合は、続けて④ボタンをもう1回押すと点滅が止まり、ストップウォッチモードの表示に戻ります。

印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

★目標ラップ通知機能

セットしてある目標ラップタイムより短いラップタイムを計測したときは、約3秒間の電子ブザーによる報告と“TARGET”マークの点滅で目標より速いことを知らせます。

なお、計測したラップタイムによっては目標ラップとベストラップの両方の条件を満たすことがあります。そのときは報告とともに“TARGET”、“BEST”マークの両方が点滅します。

なお、目標ラップ通知機能は、ラップタイムが1時間未満のときのみ行ないます。

※目標ラップタイムがリセット(00'00"000)のときは報知しません。

※計測停止時(ストップタイム)に目標ラップタイムより短いラップタイムを計測しても、**ⓐ**ボタンによる計測停止では報知しません。

目標ラップマーク



ビビビ

ビビビ

例：目標ラップタイムが2分15秒の場合



ビビビ

ビビビ

★目標ラップタイム予告機能

計測中にセットしてある目標ラップタイムの約16秒前になると約1秒間の電子ブザーとグラフ表示の全点灯で予告を開始します。予告中はグラフ表示が1秒ごとにカウントダウンし、目標ラップタイム経過後は15秒まで1秒ごとにカウントアップします。

★計測予告機能

目標タイム予告機能で目標タイムをセットしていないときは計測予告機能となり、計測中のラップタイムが前回ラップタイムの16秒前になると、目標タイム予告機能と同様な予告を行ないます。この機能により、ラップ操作の準備が素早くでき、レース観戦などでハイスピードで目の前を通る目標物が速過ぎて認識が遅れ、ラップ操作が遅れてしまうのを防げるので便利です。

＜メモリーへの呼び出し＞

メモリーしたデータは**ⓐ**ボタンを押しリコールモードで見ることができます。リコールモードではメモリーされたデータの古い順から表示され、**ⓐ**ボタンを押すごとに順に新しいデータが、**ⓐ**ボタンを押すごとに逆の順で表示されます。

ラップ数 第1ラップタイム



最終ラップタイム



最終ストップタイム

第2ラップタイム



第3ラップタイム



第3ストップタイム



ベストラップ

ベストラップの周回数

また、**ⓐ**ボタンを押ししている間ベストラップタイムとそのときの時速を表示します。

●メモリーされたデータは、ストップウォッチモードで計測をリセット後、次の計測開始まで記憶されています。

＜グラフ表示の見方＞

グラフ表示は以下のように秒または1/10秒に運動して表示します。 時速

●通常計測時

グラフ表示左から0.5秒で全点灯し、続けて左から0.5秒で全消灯をくりかえします。



0.5秒で全点灯



0.5秒で全消灯

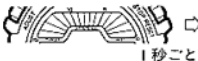
●目標ラップタイム予告時

目標ラップタイムの16秒前になるとグラフ表示が全点灯し、以後、左から1秒ごとにカウントダウンしながら消灯していき、目標ラップタイムに達すると全消灯します。



1秒ごとに消灯

目標ラップタイム経過後は、右から1秒ごとに15秒後までカウントアップしていき、それ以後は、通常計測と同じになります。



1秒ごとに点灯

＜計測/計算エラー＞

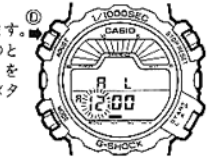
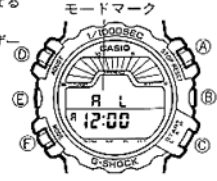
以下のようにラップタイム差や時速計算などでデータが正しくないとき(計測範囲を越えている場合は、ラップ差や目標ラップとの差、時速表示に“—”を表示してエラーとなります)。

- ラップ計測が計測範囲(9時間59分59秒999)を越えた場合。
- ラップ差が計測範囲(-59分59秒999~+59分59秒999)を越えた場合。
- 時速の計算結果が計測範囲(999.999km/h)を越えた場合。
- 第1ラップ計測中(ラップタイムデータがない場合)

なお、計測範囲を越えたときは、ベストラップ報知および目標ラップタイム報知は行ないません。

アラーム・時報の使い方…操作のしくみに合わせて**ⓐ**ボタンを押して、アラームモードにします。

アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間の電子ブザーで知らせてくれます。また、毎正時(00分のとき)を“ビビビ”と電子ブザーで知らせる時報もセットすることができます。



●アラームのセットの仕方

(1)アラームモードで**ⓐ**ボタンを押すと「時」が点滅します。

※アラームONマーク“ALM”が点灯します。このとき**ⓐ**ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」と「分」を移動します。点滅箇所がセット可能ですので、**ⓐ**ボタンを押してセットしたい箇所を点滅させます。

(2)点滅箇所の表示数字が**ⓐ**ボタンを押すごとに1つずつ進み、**ⓐ**ボタンを押すごとに1つずつ戻りますので、合わせたい「時」を表示させます。

※**ⓐ**・**ⓐ**ボタンは押し続けると早送りができます。 ※「時」のセットのとき午前/午後にご注意ください。 ※基本時刻を24時間制表示しているときは、アラーム時刻のセットも自動的に24時間制表示となります。

(3)「時」のセットが終わりましたら、**ⓐ**ボタンを押すと「分」が点滅します。「分」も「時」と同様な操作で合わせたい「分」を表示させます。

(4)セットが終わりましたら、**ⓐ**ボタンを押すと点滅が止まりセット完了です。

※アラーム時刻セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2~3分後自動的に点滅が止まります。

●アラーム・時報を鳴らすには

アラームモードのとき、**ⓐ**ボタンを押すごとにアラームONマーク“ALM”、時報ONマーク“SIG”が以下の順で点灯・不点灯をくりかえします。各マークとも点灯しているときがONで、アラーム・時報が鳴ります。



アラーム 鳴らない 鳴る 鳴らない 鳴る
 時 報 鳴らない 鳴らない 鳴る 鳴る

※アラーム・時報を鳴らさないときは、各マークが点灯していない状態にします。

●鳴っている電子ブザーを止めるには

鳴っている電子ブザーを止めるには、**ⓐ**・**ⓐ**・**ⓐ**・**ⓐ**ボタンのいずれかのボタンを押します。

●モニターアラーム

アラームモードで**ⓐ**ボタンを1~2秒以上押し続けると電子ブザーが鳴ります。